

第18号
No.18

令和7年11月1日発行
November 1, 2025

特定非営利活動法人東京モンテッソーリ教育研究所

T. I. M. E.

Tokyo Institute of Montessori Education

<https://montessori.or.jp/>

Chair Person Yumiko Hirose General Secretary Kazumi Aoki

理事長 廣澤弓子 事務局長 青木和美

Editors Ph.D. Masako Ejima Kazuko Hotta

編集委員 江島正子 堀田和子

〒158-0081

東京都世田谷区深沢8-13-16

宗教法人カトリック無原罪聖母宣教女会内

Missionary Sisters of the Immaculate Conception

8-13-16 Fukasawa

Setagaya-ku, Tokyo, Japan

Tel. 03-6432-1621

Fax. 03-6432-1622

✉ info@montessori.or.jp

巻頭言

日本モンテッソーリ協会（学会） 第57回横浜全国大会を終えて



東京モンテッソーリ教育研究所附属教員養成コース コース長

前之園 幸一郎

東京モンテッソーリ教員養成コースの全スタッフが当初から参加して行った全国大会開催準備のもとに、日本モンテッソーリ協会（学会）の第57回横浜全国大会は多くの会員参加者を迎えて好評のうちに終わった。堀田和子先生を実行委員長とする全国大会実行委員会には関東地区在住のスタッフが、廣澤弓子理事長を中心とした「コスミック教育」をテーマとするワークショップ、ならびに国内の各教員養成コース交流会の開催の準備には、東京在住のスタッフが参加した。このように東京教員養成コースの関係者が一丸となって共通の目標実現のために真剣に協力し合う具体的で多様な経験は、心に残る貴重な財産となった。今回の鮮烈な記憶は、三年後に開催予定のモンテッソーリ東京全国大会の開催に積極的に生かされ威力を発揮するに違いない。先生方のご苦勞に改めて感謝を申し上げます。

さて、今回の大会テーマ「次世代への責任 ―モンテッソーリ教育の視点から―」は、私たちモンテッソーリ教師養成機関が担うべき役割と責任の重大さについて改めて問題を提起しているように思われる。私たちが受け入れている受講生の傾向にも年々変化が見られる。少数ながら、毎年、受講生の講義レポートの内容の豊かさに、また学習意欲の真剣さに驚かされる場合が多い。本格的に学びたいと真摯にモンテッソーリ教育思想に取り組んでいる受講生についてのディプロマ取得後のバックアップの問題が、今後の課題の一つだと思われる。現代社会は、無意識のうちに人間の幸せを中心とする、生命の援助を原理とするモンテッソーリ教育を求めている。その流れを受け止める柔軟で積極的な覚悟が必要になるだろう。モンテッソーリ教師が果たす日々の役割は重大である。

モンテッソーリは、求められる新しい教育は「子どもの魂の内部でうとうとしている人間を呼び覚ます」（『子どもの発見』）教師の活躍によって実現されると述べている。

特別講義報告

2025 年 9 月 17 日 (水) 18:00 ~ 20:00

講師：高橋 興子先生 無原罪聖母宣教女会シスター
世田谷聖母幼稚園 元園長
ザベリオ学園 元理事長・学園長

文化担当講師 木村 悦子

東京コースは、昨年文京区小石川からまず 1 年生のみがここ世田谷区深沢に移転し、今年は 1・2 年生共にこの緑深い深沢で講義を受けています。この静かな環境をご提供頂いている「無原罪聖母宣教女会」のシスターであり、世田谷聖母幼稚園で長年園長先生を務められた高橋興子先生を今年は特別講義の講師としてお迎えいたしました。

門をくぐって右手の庭園の中には、両手を広げたマリア像が見られます。この両手を広げている姿は、皆を受け入れていることを表している、とのことで東京コースもこの地に迎えて頂けたことが分かります。

「無原罪聖母宣教女会」はカトリックの修道女会であり、その成り立ちについてわかりやすくお話をしました。2000 年続く「教会」は、イエス様の教えを継承していく集いであること。教会の分裂、ローマ聖教会、東方聖教会、英国国教会などへの分裂。今年 6 月に行われ、報道や映画などでも広く知られる教皇選挙「コンクラーベ」により選出されるローマ教皇について。そして誰もが歴史の授業で教わる 1549 年に来日したフランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来。新しもの好きの信長には好意的に受け入れられたが、「個を大切に」キリスト教の教えは、武士の時代には段々と合わなくなり秀吉、家康と移り変わる中で、後のキリスト教迫害、そして隠れキリシタンなど、日本独自の文化として発展した、日本におけるキリスト教の歴史と現在について。どのお話も学校の授業で聞くのとは異なり、単なる歴史の一部、過去の出来事ではなく、この場でシスターから伺うことで、今に続くお話としてより身近に、我が事として聞くことが出来たのではないかと思います。

「無原罪」という普段は耳慣れない言葉についても「人間が生まれながらに持っている罪」―「原罪」を「持たない」―「無」＝マリアからくること。創立者であるデリア・テトロウが、神の愛を、世界中の子どもたちが神様から愛されていることを伝えたい、との思いでこの「無原罪聖母宣教女会」を設立したことを聞き、イタリアで生まれた、マリア・モンテッソーリ、そして子どもたちのために考えた「モンテッソーリ教育」をこの深沢で学べることを意味を考える、貴重な講義であったと思います。



実習園紹介

モンタナ幼稚園園長／数担当講師 池田久美子

モンタナ幼稚園は、1949 年に聖母訪問会の創立者アルベルト・ブルトン司教によって設立され、1955 年に幼稚園として認可を受けました。設置母体である聖母訪問会のシスター方に見守られながら歩みを続け、創立 70 周年を迎えました。2025 年には学校法人聖トマ学園に加盟し、新たな一歩を踏み出しています。

本園は、カトリックの精神に基づき、1976 年よりモンテッソーリ教育を取り入れてまいりました。子ども一人ひとりを、神さまの愛によって創られたかけがえのない存在として尊重し、友だちを思いやる優しい心や、神さまからいただいた「命」を大切にすることを育んでいます。そして、感謝の気持ちをもって日々を過ごせるよう導いています。また、3 歳・4 歳・5 歳児が共に学ぶ「縦割り保育」を大切に、異年齢の子どもたちが自然に関わり合う中で、思いやりや助け合いを学びながら、共に生きる力を培っています。子どもたちが安心できる環境の中で「自分でやりたい」「自分でできた」という経験を重ねることにより、心が満たされ、自信が育まれ、新しいことに挑戦する意欲へとつながっていきます。自分のやりたい活動に集中して取り組むこと、友だちとの関わり、外でのびのびと体を動かすことなど、日々の自己選択による活動を通して、子どもたちは多様な学びを深めています。

モンタナ幼稚園は、一人ひとりの成長に寄り添いながら、子どもたちが喜びを感じられる環境と機会を大切にしています。こうした日々の積み重ねを通して、子どもたちが他者を思いやり、平和を創り出す人へと成長していけるよう、職員一同、心を尽くしております。

子どもたちの世界が広がり、豊かで平和な未来へとつながっていきますように。



教員養成コースの近況報告

感覚担当講師 小川かおる

一昨年 NPO 法人東京モンテッソーリ教育研究所附属教員養成コースは、長年お世話になりました文京区の富坂キリスト教センターから、世田谷区深沢の無原罪聖母宣教会会に移転しました。

4 月からは新たに 1 年生を迎え入れ、1・2 年生が揃って宣教会の教室で授業を受けられる環境が整いました。

教室からのぞく外の景色は絵画の様に四季折々に美しく映り、時折聞こえる鳥や虫達の鳴き声も心地よいサウンドとして、心穏やかに学ぶためにはとても素敵な環境です。学生の皆さんも、とても熱心に授業を受けています。特に実践練習や実習等でも積極的に学ぶ姿勢をもって取り組まれている事に大変感心致します。

当コースは前身である上智モンテッソーリ教員養成コースから始まり、今年で 55 年を迎えました。これまで多方面にわたり長年ご支援下さった方々のお力添えが無ければ教員養成コースの継続は成り立たなかった事でしょう。改めてここに深く感謝申し上げます。

今年のモンテッソーリ全国大会ではワークショップも担当させて頂きました。また、モンテッソーリ教育普及の為に尽力なさった歴代の講師の先生方の熱い思いを受け継ぎ、モンテッソーリ教育者を育てる為の講師の次世代育成も進めています。当教員養成コースを修了された学生の中で研究者を募り、指導者になるべき為の学びを受けております。



大きく社会が変わる現代、教育も社会の一要因として大きく左右されています。中でも、モンテッソーリ教育が長く受け継がれているのは、教育改革で求められている能力が 100 年以上前にマリア・モンテッソーリが提唱した子どもの生命の法則に添った教育理念そのものが、現代社会のニーズにも合致しているからだと思います。これからも当コースは、モンテッソーリ教育普及と教員養成の為に努めて参ります。

第57回全国大会ワークショップ報告

言語担当講師 伊藤千恵子

2025 年 7 月 31 日 (木) パシフィコ横浜会議センター

今回の大会テーマ「次世代からの責任」から、ワークショップでは「コスミック教育＝見えないものを見る力を養う」というテーマでご紹介いたしました。

「非認知能力」という言葉が盛んに言われている昨今、モンテッソーリ教育においては、「見えないものを見る力を養う」といった言葉に置き換えられると思われます。

すなわち「具体物から抽象化へ」あるいは「客観的思考力」「空間認知能力」「他社への配慮」などに表されているものです。これらは IQ (知能指数) のような数値で図れる知的な学力ではなく「生きる土台となる力」「あと伸びする力」「生涯の学びを支える力」などであり、測定できない個人の特性による能力全般を指します。

モンテッソーリ教育で言う「コスミック教育」とは本来 6～12 歳の児童期に提示されるものを幼児期にどのように育まれていくかという観点で各分野の活動を通してご紹介いたしました。

〈文化〉 「実験」「太陽系」など夜空に瞬く「星」である「惑星」の成り立ちや、「宇宙」の始まりについて、実際に触れることのできないものを、身近なものを通して紹介。

〈日常生活〉 「花の水替え」「色水注ぎ」など「日常生活の活動」の大きな目的である、環境との出会いの様々な活動を基盤に、自立へと育まれていく心の育ちに焦点を合わせて紹介。

〈数〉 「1、10、100、1000」のビーズ、カードの一致など実際にビーズを使って十進法のしくみを、更に四則の計算まで楽しく活動できるように段階をおって紹介。

〈感覚〉 「青い立体」「アーチ作り」抽象的な幾何立体を、運動を通して筋肉記憶し感覚を通して深い記憶を生み、最終的に名称と結び付けて抽象化するプロセスを紹介。

〈言語〉 「シンボルあわせ」「小さいかご」など言葉は単に会話のものだけでなく、考えるための道具（手段）であり、言葉を自由に操れることの喜びを伝えられよう段階を踏んで紹介。

こどもたちは、大人なら当たり前のこととして心を動かすことのない現象に目を輝かせ、大きな発見をしたように報告してくれます。こどもの発見やつぶやきを感じる環境の中にいる自分をあらためて幸せに感じます。幼児期に芽生える感性を、これからも大切に育みたいと思います。



賛助会員募集について

特定非営利活動法人東京モンテッソーリ教育研究所では、当NPO法人の目的および事業に賛同して事業を賛助する個人及び団体会員を募集しています。
是非、当NPO法人の趣旨にご賛同いただき、会員としてご協力下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

賛助会員	入会金	年度会費
	10,000円	個人・団体 一口5,000円 ※一口以上からのお申込み

入会ご希望の方は、当研究所まで電話またはFAX、E-mailにてお知らせください。申込書をお送りいたします。
電話番号：03-6432-1621 FAX番号：03-6432-1622 E-mail：info@montessori.or.jp

東京モンテッソーリ教育研究所 令和6年度収支決算

収入の部		単位:円
受取会費		
	入会金	40,000
	正会員	260,000
	賛助会員	10,000
受取寄付金		
	受取寄付金	10,000
事業収入		
	教員養成事業	12,012,290
	指導者支援事業	132,000
	広報事業	0
その他の収入		318,942
経常収入合計		12,783,232

支出の部		
事業費		
	教員養成事業	14,785,178
	指導者支援事業	101,437
	広報事業	303,949
管理費		
	役員報酬	150,000
	社会保険料	61,889
	外注委託費	1,800,000
	会議費	16,000
	通勤費	153,159
	旅費交通費	19,151
	通信運搬費	168,184
	消耗品費	110,725
	消耗什器備品費	155,830
	感染症対策費	28,794
	光熱水費	23,438
	賃借料	356,316
	租税公課	1,900
	雑費	178,512
	振込手数料	13,345
経常支出合計		18,427,807

当期収支差額	△ 5,644,575
前期繰越正味財産額	60,836,015
次期繰越正味財産額	55,191,440

令和7年4月26日 上記の通り相違ありません。 事務局長：青木和美

令和6年度研究所活動報告

1. 会員の動向（令和7年3月31日現在）

- ①新規入会 正会員 個人 2名 賛助会員 なし
- ②退会会員 正会員 個人 0名 賛助会員 なし
- ③会員数 正会員 個人 26名
賛助会員 1団体（2口）

2. 活動報告

- ①教員養成事業 令和6年4月 第19期生 16名入講
令和7年3月 第18期生 16名修了
- ②指導者支援事業 令和6年8月 第14回実践実技研修会
開催「日常生活の活動」
於 宗教法人カトリック無原罪聖母宣
教女会内 東京コース教場
- ③ホームページ等による広報事業



HP



X

「モンテッソーリ教育」（学会誌）第56号に広告掲載、令和6年11月に「T.I.M.E.」第17号を発行。SNS「X」を始める。ウェブサイトを通し、広く一般に東京モンテッソーリ教育研究所及び、付属教員養成コースの活動を発信し、モンテッソーリ教育の普及活動を行った。

以上
事務局長 青木和美

令和8年度入講生募集のお知らせ

募集定員：土曜コース 25名

※受講場所は東京都世田谷区深沢になります。

出願期間：令和7年11月19日（水）～

令和8年1月13日（火）

出願書類：願書・受験票（所定用紙・写真添付）

最終学校の卒業証明書又は、卒業見込証明書

選考料の振込み金受領書のコピー

選考日程：令和8年1月18日（日）午後1時集合

選考場所：宗教法人カトリック無原罪聖母宣教女会

選考内容：小論文（レポート）・面接

※詳細・入講案内は事務局までお問い合わせください。

Tel. 03-6432-1621 Fax. 03-6432-1622

Email: info@montessori.or.jp

編集後記

「T.I.M.E.」18号をお届け致します。東京コースが完全に文京区から世田谷区に引っ越しました。そう言えば、最初は四谷の上智大学内だったので、千代田区だったのですね。時代の流れを改めて感じます。上智大学のクラウス・ルーメル S.J. 先生や平野智美先生から天野珠子先生へ、そして現在は廣澤弓子先生や堀田和子先生が元気一杯です。嬉しい限りです。（江島正子）